

議会運営委員会

佐野 和彦 委員長コメント

今期議会（H31.4.27～R5.4.26）最後となる2月定例会では、予算審査特別委員会も含め新型コロナウイルス感染症対策として、演壇と一般質問席に飛沫飛散防止パネルを設置し、議員並びに当局が発言する際には、マスクを外し発言ができるように決定しました。

また、1年間をかけて取り組んだ富士宮市議会個人情報の保護に関する条例を制定し、委員会等にオンライン出席を可能とするために、委員会条例及び会議規則の改正を行い、正式に委員会のオンライン開催ができるようにしました。

この1年間、課題に取り組み委員長の任務を果たすことができたのは、委員7人と議会事務局の協力があったのことに感謝をいたします。



総務文教委員会

齋藤 和文 委員長コメント

2月定例会、総務文教委員会では、市当局より『移住・定住の現状と今後について』と題して説明がありました。地域活性化や少子化対策の一つとして、首都圏人口の一極集中是正の方針に合わせ、移住定住奨励金・移住就業支援金制度の活用、首都圏で開催する移住相談会への参加、首都圏を中心とした移住希望者への積極的な呼び込み、を行っているとのことでした。

それぞれの取組の概要としては、移住定住ポータルサイト、奨励金や支援金の活用、移住定住推進地域（稲子・猪之頭・青木平の3地区）との連携、相談会への出展・参加、オンライン移住相談窓口の開設、首都圏シティセールスやふるさと納税事業などとの連携を深めていると説明がありました。

移住相談件数については、コロナ禍で落ち着いてはいますが、移住者は平成29年度43人と比べ、令和3年度は111人と2.6倍と年々増加しており、成功していると思われます。

今後については、ポータルサイトのさらなる充実、新規取組の『fujinomiya life サポートズ』の設置、コワーキングスペース「i/HUB」との連携のほか、他の自治体の取組とは異なるものとして、20-30代女性をターゲットにする積極さは目を引くものでした。各委員からも多くの意見要望が出され、充実した調査となりました。

